
私と家族と恋人と

Lockon.Stratos.

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私と家族と恋人と

【Nコード】

N3749Z

【作者名】

Lockon・Stratos・

【あらすじ】

高校生の私とそれを取り巻く人間のお話

私と新しい家族と（前書き）

私に母は居ない。

そしてある日告げられる新たな家族

その日を堺に私の人生にもたらす異変とは・・・

私と新しい家族と

ことの発端は、昨日の夜。

父『なあ、父さん再婚しようと思ってるんだが……嫌か？』

??『……勝手にすれば？』

父『いやゝ。お前なら、賛成してくれると思ってたよ。　　おやみ。』

その言葉を最後に私は布団に入った。

翌日

暖かい日差しとともにいつも聞いている洋楽が目覚ましと鳴り、私は目を覚ます。

季節は春と夏のちょうど中間地点。

???『朝か。　　今日は確か英語と体育のテストだっけ？　　めんどくさいなあ……』

私は階段を降り、キッチンへと向かう。　　そしてエプロンを身に纏い、朝食を作った。

基本的に私が家を出る時に父はリビングに戻る。

???『いつてきます』

父『いつてらっしゃい。　　今日の夜、新しい家族にあわせるよ』

???『わかった。』

そして、私は家を後にした。
？

朝の電車

車内

知らないおじさんや高校生が変な目でみてる。
なんか、鬱な気分だ・・・

竜ヶ岬駅。

私はいつもここで友達と合流する。

？『おい。 美香〜 おはよ〜』

美香『沙耶おはよー』

彼女は、赤坂^{あかさか}沙耶^{さや} 私のクラス1仲のいい友達。

沙耶『美香〜、勉強教えて〜』

美香『なんでよ？ 沙耶いつも授業中寝てるからわかんないんじゃないの？』

沙耶『だって〜 授業って眠くなるじゃん？』

彼女は大抵の授業の最中寝ている。彼女の得意科目は体育。もっぱ

らの元気っ子だ。

????『おっす、沙耶〜』

沙耶『お〜 祐介おはよ。 あ、あんたまた夜ふかししてたでしょ??? クマで来てるしw』

彼は、たかしま ゆうすけ高島祐介 沙耶の幼馴染らしいんだけど、実際よくわかんない人。

祐介『うつせ〜なあ 新しいゲームやってたら面白すぎて、やり込んじまったww やくも八雲も元気か??』

美香『うん。 高島君も元気そうだね。』

沙耶『あ、そ〜いえばさあ知ってる?? 今日、先生一人と生徒が三人がうちの高校に入ってくるらしいよ?? なんでも、イケメンなんだってさ。 でね、みんな彼氏いないって噂なんですけど、美香どうよ???』

美香『へー、沙耶は知ってるでしょ? 私は彼氏とかそんなのわかんないし、特に欲しいとも思ったことないの。』

私は軽くあしらった。 私には彼氏という人がいたことが一度もない。 当然、今の高校生としては残念なグループに属しているに違いない。 みんな（彼氏が）とか騒いでいるが、そんなこと友達とも話したことがない。 第一、なにが楽しいのか理解できない。

沙耶『あんたさあ〜、いまどき彼氏が居ない女子高生なんて終わってるわよ???』

沙耶は、いつでも私の見方だが彼氏の話になると、別人のように私に彼を作ることを進めてくる。

祐介『沙耶・・・お前さ、自分はどうなんだよ、自分は？？』

祐介はいつも沙耶の心配をする。自分のことよりも沙耶。彼はきつと沙耶が好きに違いない。

沙耶『うつさいなー。それでも私は陸上会ではモテるのよ？？』

美香『へへへ 沙耶もてるんだ？？』

祐介『答えになってないし、いるなら紹介しろよな！俺とお前は幼馴染なんだから。』

？

沙耶『誰があんたに教えるもんですか！！ 美香には教えても、あんたには絶対に教えてあげないよ』だW

竜ヶ岬モール入口駅

美香『あ、2人とも降りるよ！！』

私たちはこの駅で降り、10分ほど歩く。

沙耶『やっと着いたね。 やっぱりうちの学校グラウンド広いなー』

美香『だね』

私たちの通うこの学校は、竜ヶ岬高校。結構な街中なのにサッカーコート、野球グラウンド、テニスコートに陸上トラックなどの設備が

かなりいい。

私たちは靴を履き替え、クラスに向かう。

私は一番後ろの窓際で隣は沙耶。祐介はうるさいからという理由で教団の前の席。

??? 『おゝゝ祐介、今日もお前両手に花かよ！羨ましいな・・・』

この人は三條達摩君 みじょう たつま 彼は祐介の友達で祐介の部活の女房役

祐介 『うつせゝゝな、条！ じょう！八雲はともかくこんな体育会系の女のどこに花があんだよ???・・・あ』

条 『・・・』

ゴンッ!!

あ、祐介君の頭が壁に突き刺さった・・・かわいそうだな

条 『でた!!赤坂の目覚めのいちげk・・・フゴッ』

三條君も・・・

こんな感じで朝の休みが終わりチャイムが鳴った。

ガラッ ドアが開き担任の田中先生が入ってくる。

田中 『みんなおはよう。 祐介と条が居ないが、誰か見たやついな
いか・・・いた。』

先生は壁に目を向け固まった。

田中『はい。全員出席な！！　んで、何人かは知ってると思うが、今日先生1人と生徒が三人転入してくることになったぞ。一人は3年生で二人はこのクラス、先生はうちの担任をやってもらうことになった。じゃあ、みんなよろしく。』

と言う声と同時に3人の男の人がクラスに入ってきて、女子が騒ぎ出した。

???『どうすんの？何も決まってるじゃないけど、兄さんから行きなよ？？』

???『いやオレら双子だし兄貴もクソもねえしw　仁から行けよ！！お前一番年上だろ！？』

仁『はあゝゝ、分かったから静かにしろこの愚弟ども』

その一言で双子であろう二人は怒られた子供のように静まり返った。

???& a m p ; ???『はい。』

仁『えゝゝ、僕は火野^{ひの}　仁^{じん}ついていいです。田中先生のかわりになれるかわからないけど、最善を尽くすので、皆さん協力をお願いしますね？？』

と言う自己紹介に対し

???『何が「お願いしますね？」だ、クソ兄貴。俺は、火野^{ひの}』

司^{つかさ}見ての通りこのクソ兄貴の弟。』

???『やめなよ司ww 兄さんが可哀想だつてww 僕は火野^{ひの}かずま
和真^{かずま}つて言います。ま、皆さんお気づきでしょうけど今日転入して
きてるのは、みんな僕の兄弟です。よろしくお願いしますね』

仁『お前らなあ・・・ 家に帰ったら覚悟しとけよ??』

その瞬間、私はあの先生がただものでは無いと思った。

和真『ツチ!! 静かに聞いてりやいい気になりやがって・・・』

美香『ねえ、沙耶?? いま、おっとり君の口調変わったよね??』

沙耶『えっ? そういえば、たしかに・・・』

和真『「おっと、まだ俺が出てきちゃいけねえな・・・和真・・・
」・・・ワワワワワ、ま、兄弟仲がいいのでみんなとも仲良くや
りたいってことです』

美香『気のせい・・・だよね??』

とつぶやき私は彼らから目を移し窓の外を眺めていた。
これが私すべてのスタートだと誰も気づかず・・・

キャラ紹介（前書き）

早いですがキャラクター紹介行きます

キャラ紹介

八雲 美香 やぐも みか 16歳

身長／157cm 容姿／メガネをかけ黒髪のみディアムでふわふわさせている

赤坂 沙耶 あかさか さや 16歳

身長／167cm 陸上部 容姿／高校生とは思えないレベルの童顔。貧乳がコンプレックス。 美香の理解者。 祐介の幼馴染？？

高島 祐介 たかしま ゆうすけ 16歳

身長／178cm サッカー部／FW 9 容姿／金のみディアムで体はそんなにがつちりしていない。 沙耶への片思い歴／10年

三条 達摩 みじょう たつま 16歳

身長／176cm サッカー部／MF 10 容姿／茶色で真ん中をいつもワックスで上げている。 祐介の女房役

火野 仁 ひの じん 24歳

身長／185cm 容姿／黒髪のロングで後ろに束ねている。 火野家の長男

火野 侑士 ひの ゆうし 18歳

???

火野 司 ひの つかさ 16歳

身長／180cm 容姿／限りなく黒に近い緑のロング。 仁よりは長くない。 和馬の双子の兄

火野 和真 ひの かずま 16歳

身長 / 180cm 容姿 / 限りなく黒に近い緑のロング。 仁よりは長くない。和馬の双子の弟

火野 マリア (ひの まりあ) ??歳

身長 / 170cm 容姿 / スラッとしたモデル体型に金髪。 青い瞳が特徴的。 天然??

八雲 信行 やぐも のぶゆき 46歳

身長 / 189cm 容姿 / スポーツ選手のような体型。 八雲不動産の社長 美香の父

私と兄？

朝の朝礼も終わり、一時間目が始まる

美香『なんだったんだろうね、あのおつとり君？？』

沙耶『ん〜』

と、いつもの沙耶らしくない対応に美香が疑問に思い再び問いかけた

美香『沙耶、大丈夫？？』

沙耶『ん？あ、ごめんごめん　ちよつと携帯のゲームでさ、勝負に乗るか乗らないかで悩んでてさ。・・・いいえーい、勝ったあ！！
美香あたしすごくない？？今このゲームで日本一なんだあ』

美香『へえ〜　それってすごいのか？？』

沙耶『あんだ、このサイト知らないの？？学生とかで流行ってるプロフってやつของเกมなんだけど・・・美香興味なかったよね？』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3749z/>

私と家族と恋人と

2011年12月19日13時48分発行